



水圧実験器 UPS-10

●当社で規定している警告と注意の意味は次の通りです。

 警告	取扱を誤った場合、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。
 注意	取扱を誤った場合、軽傷や中程度のけがを負う可能性がある場合、および物的損害の可能性のある場合。
注記	装置を正しく使用していただくためのヒント的情報を記載しています。

1. はじめに

このたびは水圧実験器 UPS-10 をお買い上げいただきありがとうございます。この実験器は、水圧は方向に関係なく水面からの深さに比例することを、興味深くゴム膜のくぼみから観察できるようになっています。

2. 名称及び仕様

本体 透明アクリル樹脂 ゴム膜、目盛付き
 取っ手 透明アクリル樹脂 目盛付き
 (図1参照)

3. 準備品

角型水槽 (アクアリウムなど側面が透明なもの)

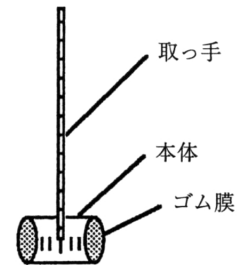


図1 各部の名称

4. 使用方法

1. 水の深さと圧力の関係

取っ手を持って本体を水槽に沈めてゆき、水面からの深さとゴム膜のくぼみ(水圧の大きさ)の関係を調べます。(図2参照)

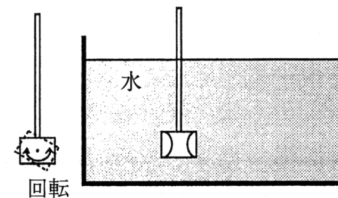


図2

このとき、取っ手の目盛と本体の目盛を目安にして、水深と水圧が比例することが見出せます。

また、本体を回転させて、ゴム膜が上下の状態になったとき、くぼみの量が上下で異なることが確認できます。(図3参照)

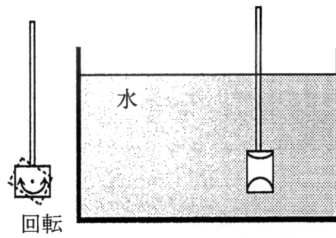


図3

2. 水圧の方向についての実験

図4のように本体を回転させて、水中に沈め、どの方向にしてもゴム膜がくぼむこと、また、同じ深さでは、くぼみが同じ量になることが判ります。(図4参照)

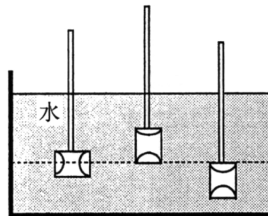


図4

5. ご使用時の留意点

取っ手の部分から空気を吹き込むと、余計な圧力がかかりゴム膜が破れることもありますのでご注意ください。